

市長が被災地を訪問



↑宮城県南三陸町役場付近。「骨組み」のみの防災センターだけが立つ。

東日本大震災では、多くの犠牲者を出し、いまだ多くの人が避難を余儀なくされています。先月の広報紙でもお伝えしたとおり、市では義援金や復興支援のための各種プログラムを設け、議会と相談の上、支援していくことを決めました。

今回、市長と議長が被災3県と宮城県南三陸町を訪れ、義援金を手渡し、支援の意思を伝えて参りました。現地の様子なども交え、その模様をお伝えします。

藤原市長 被災地報告



4月20日朝

私は、義援金の目録などを携え、東京にいた。現地を訪れるメンバーは、私のほか、梶原市議会議長、職員4人の計6人。万一にも現地に迷惑をかけないよう、寝袋など荷物一式をレンタカーに積みこみ、宮城県庁へ向かう。

今回の訪問には、20年前の普賢岳災害の恩返しへの気持ちも伝える、という大きな目的のほかに、もう一つ目的があった。

「相手を知り、現地を知ること」私は、被災地への支援は長びく、とみている。現地を知らねば、適切な支援は難しい。一人よがりとならないためにも、どうしても今回の訪問は必要だった。

藤原市長・ 梶原議長の 行程 1,407km



- 4月20日 午後3時～
- ① 宮城県庁…三浦副知事対応 午後5時～
- ② 気仙沼市…隈部議員激励
- 4月21日 午前10時～
- ③ 宮城県南三陸町…佐藤町長対応 午後3時30分～
- ④ 岩手県庁…上野副知事対応
- 4月22日 午前11時～
- ⑤ 福島県庁…森合企画調整局長対応

4月20日 午後3時

宮城県庁

宮城県三浦副知事に対応していただいた。義援金を渡し、支援策の説明をすると、「遠方から温かい支援をありがとうございます」との感謝の言葉をいただいた。また、短い時間だったが、災害への悔しさが伝わった。

その後、予定を変更し、気仙沼へ向かう。同地で隈部和久議員がボランティア活動をしている、と事前に聞いていたからだ。

午後5時、気仙沼に入る。しばらく走ると、突然視界が変わった。一同絶句し、そして息を飲む。荒涼とした風景がどこまでも続く。そこで初めて、建物が流され、視界を



→宮城県気仙沼市。あまりの壮絶さに皆絶句した。

4月21日 午前10時

宮城県南三陸町



↑南三陸町佐藤町長(左)と。何が必要かを話し合う。

「今後も長く支援を続けたい」という私の言葉を特に喜んでくれた。支援を一過性のものにせず、長く続けたい。そう思う。

4月21日 午後3時30分

岩手県庁

岩手県庁では、上野副知事に対応いただいた。上野副知事は、熊本県荒尾市の出身だとか。遠方で活躍する九州人に頼もしさを感じると共に、岩手を身近に感じた。

4月22日 午前11時

福島県庁

宮城県南三陸町を訪れる。現地は、すさまじい以外の言葉が見当たらない。骨組みのみの防災センターがポツリと町の真ん中に立ち、隣接していた役場は跡形もない。職員にも多くの犠牲者が出たほか、町長も九死に一生を得たという。

プレハブの仮設役場で佐藤町長と会う。20年前、普賢岳噴火時、佐藤町長は雲仙に宿泊していたそうで、その後もずいぶん支援をいただいたと聞いた。不思議な縁だと思ふ。

福島県は、地震・津波・原発事故の三重の苦しみにあえていっている。他の県庁とは異なり、全国の報道センター、政府現地連絡対策室、自衛隊連絡調整所などが設置されていた。私たちが訪問した際も、ものものしい雰囲気漂っていた。当日知事は東京電力との会議が予定されていて、対応は、森合企画調整局長にしていた。原発の問題は根が深い。難

東北地方太平洋沖地震義援金

たくさんの善意
ありがとうございました

16,180,086円
(5月16日現在)

引き続き、義援金を募集しています。

☎ 福祉課 ☎050(3381)5051

南島原市が行う被災地への独自支援

☎ 総務課 ☎050(3381)5020

被災地への義援金(総務課)
 ・被災3県……各1,000万円
 ・南三陸町……2,230万5千円
 総計……5,230万5千円

被災地への人的支援

- ・被災地域への職員派遣(人事課)
- ・保健師・一般職員の派遣を行います。
- ・民間保育士ボランティア派遣(こども未来課)
- ・民間保育士のボランティア派遣による支援を行います。
- ※民間保育士のボランティアを募集しています。まずはお電話を！

避難者への支援

- ・空き家の提供(企画振興課)
- 市内の空き家を市が借り上げ、無償で提供します。
- ・被災児童、生徒ホームステイ(企画振興課)
- ホームステイにより、被災児童・生徒の受け入れを行います。生活費や学用品費の支給も行います。
- ※ホームステイ先になっていただけるご家庭を募集しています。
- ・避難者への生活支援(福祉課)
- 南島原市に避難した世帯への見舞金の支給、生活必需品、学用品の給与および貸与を行います。
- ・心のふるさと交流支援事業(生涯学習課)
- 被災地の児童・生徒を10泊11日で招待します。
- ・就農研修支援事業(農林課)
- 就農研修費補助として就農者への補助を行います。

被災地への物資支援

- ・支援物資の提供(総務課)
- 軽力(軽量のリヤカー)30台の購入・提供。その他必要な物資の支援
- ・島原手延べそうめん炊き出し支援(商工観光課)
- ・学校用机・椅子の提供(教育総務課)
- ・「一人じゃないよ」支援スタ(生涯学習課)
- 市内小中学生から被災地域